

一般質問



大橋 議員

○志佐・御厨のサウンディング型市場調査の結果対応について

質 志佐漁港水産種苗施設用地の利活用について、デジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプを利用すれば、これまで補助金が上限5億円だったものが、7年度は10億円になっています。整備費の2分の1は国からの補助があります。この制度を利用して一体的に再開発を考えたほうが良いと私は考えますが、市長の考えを伺います。

市長 道の駅松浦海のふるさと館は、現在においても市の交流人口の増加に大きく寄与する施設であり、既存の道の駅の集客力を含め相乗効果が生まれるような整備につなげていきたいと思っています。現時点において、地方創生交付金の活用については決めています。

質 おもちゃ美術館は市長の肝いりの施策だと先日のキャラバンでも言われていました。商売においては、自分が売りたいものと、お客さまが欲しいものというのは得てして違うものです。この基本構想をいま一度立ち止まって、慎重に再考されることを願いたいと思いますが、市長の

考えをお聞かせください。

市長 第一義は市民の皆さんの子育て環境の整備であり、それが屋内型遊戯施設です。幅広い世代の市民の交流の場ができることで、周辺からも多くの皆さんを呼び込み、交流人口の拡大による経済規模の拡大につながると思いますので、ご理解を賜りたいと思っています。

○松浦貯蓄共済協同組合に対する市の貸付責任について

質 返済できる見込みが全くない事業者に資金を貸し出すことは背任行為であり、貸し付けて、たった2回の返済でそれ以降返済が滞るといふことは、民間金融機関であれば善管注意義務違反で懲罰委員会にかけられる事案です。この松浦貯蓄共済協同組合に対する貸付け責任の所在について市長の考えを伺います。

市長 市の長期貸付けに関する責任ということですが、最終的に貸付け実行の決断をしたのは市長である私ですので、この貸付金が未回収になっている、この責任は市長である私にあると思っています。

そのため、貸付金の原資が市民の税金であることから、しっかりと回収に取り組むことが、私の責任の果たし方であると思っています。

一般質問



徳田 議員

○福島地区の洪水対策について

質 支所前から診療所付近までの内水面洪水対策ができないか伺います。

建設課長 現時点では豪雨に対する洪水対策を要する区域には位置付けていませんが、夏から秋にかけての潮位の高い時期に、市道猪子谷線沿道の住宅地を含む一部の区域において、海水による冠水の事例が確認されています。原因の一つとして、ゲートに漂流物が挟まり海水面の上昇に応じてゲートが閉じなくなったことなどが推測できますが、今後も引き続き原因特定のため、現状の把握と情報収集に努め、整備の検討をしていきたいと考えています。

質 播磨釜地区の港の護岸越水対策ができないか伺います。

水産課長 昨年8月に、福島港を管理する県北振興局港湾漁港第二課が浸水箇所付近を確認しています。県に対策を尋ねたところ、周囲の物揚げ場の高さを参考に、浸水箇所の物揚げ場のかさ上げを行うなど、令和7年度に緊急自然災害防止対策事業で予算要求をしたいとの回答がありました。本市も今議会に関係予算を計上しています。

○財政調整基金の運用について

質 直近5年間の市民からの市に対する要望件数を伺います。

政策企画課長 令和2年度214件、令和3年度228件、令和4年度227件、令和5年度178件、令和6年度163件です。

質 1月10日の長崎新聞の記事によると、松浦市のラスパイレス指数は県市で一番高いが、県内平均および県よりいくらか高いのか。また、12月の市報まつうらの人件費の状況から私が試算した結果では県内市町平均および県より高いが、実際はいくら高くなるのか伺います。

政策企画課長 ラスパイレス指数は自治体の財政運営や、公務員の給与適正化の指標として活用されていますが、ラスパイレス指数の差を実質的な金額換算で算出するのは困難であり、職員1人当たりの給料の差を算出することも難しいため、総額での比較を算出することも困難です。

質 1月臨時議会で4月に遡って職員の給与が引き上げられた。市の財政調整基金は全国トップクラスの積み上げ率である。この基金はもともと市民のために使われるべきだと思うが、監査委員の考えを伺います。

監査委員 基金を職員の給与引き上げに充てられたことは、松浦市財政調整基金条例に基づき適正にされていると考えます。